

健保組合  
加入事業所の  
ご紹介  
その19

# ユニ・フード株式会社

「小袋パック」のパイオニア企業として「小袋技術」を前面に出し、安く、おいしく、便利に、を合い言葉に、現代の食生活に役立つ「小袋製品」の提供をめざしています

今回ご紹介する加入事業所は、印西市に所在するユニ・フード株式会社です。同社は「食品の小袋製品」専門のトップ企業として、小袋充填に関する技術を独自に研究開発し、その技術をさまざまな食品に活用できるように業務拡大している企業です。また、からし、たれ・ソースなどの調味料や、スープ、黒蜜などの小袋製品も製造販売しています。

去る8月3日、印西市の本社を訪問しました。本社2階の会議室で時間を割いてくださった小石桂三社長からお話を伺いました。



小石桂三社長

社名は、普遍的・世界的なことなどを意味する「ユニ・フード」と命名

同社は、以前船橋市中野木に所在していましたが、周辺の宅地化や商品の品質向上と業務拡大を図るため、平成21年3月に印西市松崎工業団地内に本社と工場を新設移転しました。

創業は江戸時代末期。安政5年に

現在の千葉県船橋市で菜種、からし種の集荷、搾油、販売業を営み、油を扱っていたため、近隣では「あぶらや」と呼ばれていました。第2次世界大戦が始まると、各県1社の統制会社「千葉辛子粉工業有限公司」となり、戦後は「小石油脂工業株式会社」と改称しました。昭和40年、食生活の洋風化という市場の変化と原料事情により、高度な加工食品の製造販売を目的として先代の小石寛社長が「ユニ・フード株式会社」を設立されました。社名の由来はユニバーサルからとり、「ジャパン・フード」ではなく、広く、普遍的・世界的なことなどを意味することから「ユニ・フード」と命名されました。

生産から練りからの商品開発に取り組まれました。以前は「からし」といえば粉がらしが一般的でした。当時は小袋充填技術が確立されていなかったため、フィルムメーカーや東京農大の研究室と共同で包装からしを研究して商品開発し、充填機械を自社開発し、練りからの風味を長期間にわたって保持できる小袋パックの製品化に成功されました。それ以降は長年培ってきた技術とノウハウを生かし、練りからしだけでなく、たれ・ソースなどの調味料、アーモンドクリーム、スープ、黒蜜の小袋など幅広い分野を対象に、消費者の好む味の開発から製造、小袋充

填まで一貫して行っています。特にアーモンドクリームは、「ユニ・サークルアーモンド」の名称で全国の学校給食へ出荷され、子どもたちに大人気の一品となっています。

らしやたれは、当初は各取引先企業に同じ製品を提供していましたが、いまは各取引先企業のこだわりやその商品に合った小袋を研究開発し、提供しています。

平成14年に、顧客に安全・安心で高品質の商品を提供するためにISO9001の認証を取得し、さら

安全・安心な商品を提供するためにさまざまな「認証」等を取得

に、加工食品のJAS法に基づく有機加工食品製造業者の認定も取得し、付加価値の高い有機食品の製造・充填を行っています。また、平成23年、清涼飲料や乳製品、添加物の製造許可を取得し、将来を見据えた事業拡大を計画されています。

小袋で1食分の食事を安く、おいしく、便利にをテーマに、小袋パックのパイオニア企業として小袋技術を前面に出して液体は何でも小袋にし、そして取引先の商品を引き立てる小袋を提供することをめざしています。現在は、液体の小袋から具の入った小袋などを開発中です。一口に小袋といっても、大きさや形状などさまざまな種類があるので、包装技術を研究して商品開発し、顧客のニーズに応じた小袋を提供しています。

健康には強い関心をもち、健診はほぼ全員が受診

小石社長の健康法をお聞きしましたら、「健康法は何もしていませんが、船橋市内の自宅から会社まで自転車通勤しています。50分ぐらいかかりますが、体重も減り、とても体調がいいです」と話され、健康には強い関心をおもちのようです。社員の皆

さまにも勧めています。なかなか賛同者はいないとのこと。

次に、健保組合の重要事業でもある「健診や健康づくり」についてお聞きしました。健診については、事業主健診をほぼ全員の方が受診され、さらに35歳以上の方は健保組合の検診車による生活習慣病健診を受診され、健診結果により健康保険組合の保健師指導も受けています。また、社内に「安全衛生委員会」を設け、メンタルヘルスや熱中症などその時々で必要な対策に取り組んでいます。インフルエンザ予防接種も多くの方が受けられています。

スポーツは盛んに行われ、以前はフットサルなどが行われていましたが、現在は野球が盛んで、当健保組合の軟式野球大会にも参加されています。また、今年度の野球大会にもすばらしい製品をご提供いただき、たいへん感謝しています。

小石社長にはお忙しいなか長時間にわたり取材にご協力いただき、誠にありがとうございます。これからも小袋分野においては、製品の開発を中心に多岐に練り広げられることと思います。貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。



ユニ・フード(株)で製造販売している「小袋製品」の数々

「小袋」を製造している工場内



ユニ・フード(株)のホームページ  
<http://www.unifood.co.jp>



▲本社社屋